

- 上野図書館 ☎ 21-6868
- いがまち公民館図書室 ☎ 45-9122
- 島ヶ原公民館図書室 (島ヶ原会館内) ☎ 59-2291
- 阿山公民館図書室 (あやま文化センター内) ☎ 43-0154
- 大山田公民館図書室 ☎ 47-1175
- 青山公民館図書室 ☎ 52-1110

図書館だより

Library Information

★新着図書紹介 (上野図書館)

■一般書

『死ぬまでに観ておきたい
世界の絵画 1001』
スティーヴン・ファージング
／編
さまざまな時代、地域から
選び抜かれた 1001 点の
絵画をカラーで掲載。年代
順に並べられた各作品には、
それぞれ詳しい解説がつき、
読み物としても楽しめます。

■一般書

『さらさらさん』
大野 更紗／著
ある日、原因不明の難病を
発症し、深刻な状況に置
かれてはいるはずの著者。し
かし、難病と向き合いつつ
過ごす日々を綴った文章は、
知性とユーモアにあふれて
います。



■児童書

『クマに森を返そうよ』
沢田 俊子／著
近年、クマが人里に現れ、
ときには人間を襲うという
ニュースが増えています。人
とクマがお互いにルールを
守り、共に生きていくには
どうすればいいのか、みな
で考えてみましょう。



■絵本

『えんそく おにぎり』
宮野 聡子／作
遠足で、山登りに出かけ
るきみちゃん。お母さんと
いっしょに作った大好きな
おにぎりをお弁当に持ち
ました。はじめて自分で
にぎったおにぎりは、ど
んな味がするのかな。

6月の読み聞かせ

開催日	会場	時間	催物	*は読み手
8日(土)	上野図書館 2階視聴覚室	10:30 ~ 30分程度	おはなしの会	
15日(土)	いがまち公民館会議室(和室)	10:00 ~ 30分程度	読み聞かせ会	*読み聞かせボランティア「ぶらんこ」
15日(土)	大山田公民館図書室えほんのへや	10:30 ~ 30分程度	おはなしたいむ	*おはなしボランティア「きらきら」
16日(日)	阿山公民館図書室読み聞かせ室	10:30 ~ 30分程度	読み聞かせ会	*読み聞かせボランティア「はあと&はあと」
18日(火)	阿山公民館図書室読み聞かせ室	10:30 ~ 30分程度	読み聞かせ会	*読み聞かせボランティア「はあと&はあと」
19日(水)	上野図書館 2階視聴覚室	15:00 ~ 30分程度	えほんの森	*おはなしボランティア「よもよも」
22日(土)	上野図書館 2階視聴覚室	10:30 ~ 30分程度	おはなしの会	*おはなしクラブ「いがぐり」
25日(火)	島ヶ原地区市民センター	10:00 ~ 30分程度	読み聞かせ会	*読み聞かせボランティア「ネエよんで」
26日(水)	青山公民館図書室絵本のコーナー	10:30 ~ 30分程度	おはなしなあに?	
7月3日(水)	いがまち公民館会議室(和室)	10:00 ~ 1時間程度	絵本の時間	*読み聞かせボランティア「お話の国のアリス」

★絵本の読み聞かせや紙芝居、手遊びなどをします

牛に生まれ変わった母

～喰代の化牛説話～

市史編さんだより (25)

『日本霊異記』は、平安時代初期に、仏教を広めることを目的に各地で僧侶が語っていた説話を薬師寺の僧景戒が集めて書いた日本最古の仏教説話集です。高校の教科書にも登場するこの書物に、喰代を舞台とした説話が登場するのを皆さんはご存じでしょうか。

説話の主人公である喰代の高橋連東人は、亡き母の供養のため僧を招くことにし、明日、最初に出会った僧を招くと決めます。翌日、最初に出会った僧は、酒に酔いっふれ、路上に臥していましたが、東人は、その僧を丁重にもてなします。困惑したのは僧のほうで、ひそかに逃げることを決意します

が、逃げ出せずにいると、その夜、夢に牛が現れ、東人の母と名乗ります。その牛は、前世で子供のものを盗んだ罪で、現世ではこの家の牛に生まれ変わり、罪を償っていると伝えます。その証明として、法会の際に席を設けてくれれば、そこに座ってみせることも伝えたいです。

そして、法会するとき、夢に従い席を準備すると、そこに牛が座ります。東人は大いに泣き、その罪を許したそうです。法会が終わる

と牛は死んでしましますが、東人はその後も母のために功德を修めたそうです。

『日本霊異記』をはじめとする平安時代の説話文学の世界では、神仏や鬼、物の怪が多く現れ、人々を驚かせます。また、動物も人の言葉を理解し、ときには人に化けたりもします。そして、喰代の化牛説話のように、人も動物になっ

てしまします。当時の僧侶は布教のため、このような不思議な話を通して、因果応報など仏教の教理を民衆に伝えていったようです。泥酔し、逃走を図る僧侶の人間臭さや、喰代という実在の地名を話に盛り込むことで聴衆にとって、より身近な話題として実感できたことでしょう。そして、現在の私たちにとっても、身近な地名の登場は、時を隔てた古典の世界を親近感のあるものにしてくれるのではないのでしょうか。



▲喰代周辺の風景

総務課市史編さん係
☎ 52・4380 FAX 52・4381